

佐倉フィルハーモニー管弦楽団

第53回定期演奏会

2010年12月12日(日) 14:00 開演
佐倉市民音楽ホール(京成臼井駅南口徒歩4分)

指揮：村上満志

ピアノ：太刀川琴絵

曲目：ワーグナー／

「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲

ショパン／ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11

ドヴォルザーク／交響曲第7番 二短調 作品70



村上 満志

島根大学教育学部を卒業後、1971年東京芸術大学器楽科入学。同学4年在学中に東京都交響楽団に入団。卒業後は、ドイツ政府給費留学生として渡独。元ベルリンフィル首席コントラバス奏者のライナー・ツェバリッツ教授の下で研鑽を積む。帰国後は、東京都交響楽団首席コントラバス奏者としてのオーケストラ活動の他にソロ・リサイタルや室内楽、またオーケストラのソリストとして活躍。これまでに、東京都交響楽団、広島交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団と協奏曲を共演。2004年には、佐倉フィル第40回定期演奏会のソリストとしてクーセヴィツキーの協奏曲を共演、好評を博す。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者、昭和音楽大学講師。コントラバスの演奏活動の他に、NHK TVのドキュメント番組やドラマにおける音楽を指揮者として数多く録音し、特に2000年を迎えるライブ番組においてはソプラノの佐藤しのぶ女史の伴奏オーケストラを指揮した。また佐倉フィルはもとより、立教大学管弦楽団、長岡室内合奏団等アマチュア演奏団体の指導にあたり、特に長岡室内合奏団においては16年間にわたり年1回の定期公演を演奏・指揮をし、同団の演奏水準の向上に寄与した。佐倉市在住



太刀川 琴絵

千葉大附属小中学校、桐朋女子高校音楽科、同大学卒業後フレーヌ国際音楽アカデミー、マニトバコンセルパトワールにて研鑽を積む。NHK洋楽オーディション合格、やちよ音楽コンクール最優秀賞、全日本学生音楽コンクール入選、日本ピアノ教育連盟オーディション本選奨励賞、江戸川新人オーディション首席合格の他数々のコンクールやオーディションに合格し、国内各地オーケストラと協奏曲を共演、ベートーベンの生家で開催された日独親善コンサート、カナダでのソロリサイタル、ウィーンのシュテファン大型堂やスペイン国立劇場、来春にはプラハのスメタナホールで演奏予定と国内外にて演奏活動を展開。NHK-FM「土曜リサイタル」、BS日テレ「日本心の歌」等の出演、都響定期演奏会でのオーケストラピアノや首席奏者との室内楽、様々な演奏家や来日アーティストとの共演、国技館第九・大阪1万人の第九では佐渡裕氏・日本フィル合唱団では小林研一郎氏のもと合唱ピアニストを務める等幅広く活動中。ぶらあぼ iTunes より日米欧に向けライブアルバムが、先月北欧の名曲を集めたピアノソロCD「鈴音」がリリースされている。桐朋学園附属音楽教室・県立津田沼高校音楽コース講師。



sakura
philharmonic
orchestra

主催：佐倉市民音楽ホール・佐倉フィルハーモニー管弦楽団

後援：佐倉フィルハーモニー管弦楽団後援会

ワーグナー 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」 第1幕への前奏曲

この楽劇は、1862年から67年にかけて作曲されたワーグナー唯一の喜劇です。初演は1868年、ミュンヘンでハンス・フォン・ビューローの指揮によって行われました。

舞台は16世紀ドイツのニュルンベルクの街。騎士ヴァルターは、金細工の親方ボーグナーの娘エヴァと恋に落ちます。ボーグナーは歌合戦に優勝した者（マイスタージンガー）にエヴァを与えることとしました。そこでヴァルターは出場するために試験を受けますが、恋敵ベックメッサーの妨害にあい落第。しかし、靴屋の親方ザックスの名案により、最後には見事な歌を披露し優勝を果たします。そして二人は結ばれ、民衆はザックスとドイツの芸術を讃えます。

前奏曲は、冒頭に提示される「マイスタージンガーの動機」、続いてフルートが奏でる「愛の情景の動機」、「行進の動機」など、楽劇の全曲を通し重要な役割を果たす動機（ライトモティーフ）が散りばめられた荘重な曲となっています。

ショパン ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11

坂本龍馬や篤姫の誕生より6年前、1830年に20歳のショパン自身のピアノにより初演されたこの曲は1927年から5年おきに開催されているショパンコンクール本選の課題曲に始まり、「のだめカンタービレ」の野田恵に至るまで古今東西の多くのピアニストにより演奏されていますが、今年はショパン生誕200年にあたり、世界各地で演奏される機会がより多くあります。

ショパンは「ピアノの詩人」と称せられますが、ダイヤモンドダストのようなキラキラとしたメロディーが全曲に流れ、最もショパンらしい曲のひとつと言われています。

第1楽章 最初の4分はオーケストラだけの序奏が続き、ピアノソロには日本の演歌にも似たメロディーも登場するが、総じて華やかに展開される。

第2楽章 幻想的な弦楽器の序奏に続き、ファゴットの対旋律（ファゴット奏者は極度の緊張感に襲われます）を伴った美しい主題が演奏される。雨だれを連想させるピアノの独奏の後に再び主題が現れて第三楽章に続く。

第3楽章 どこかで聴いたことがある様な日本人にも親しみの持てる優雅なメロディーが展開される。トランペットの超高音等オーケストラにも技巧的なパッセージが続き、最後はピアノの超絶技巧テクニクが披露されて華やかに終わる。

ドヴォルザーク 交響曲第7番 ニ短調 作品70

ドヴォルザーク（1841～1904）はチェコのブラハ近郊の肉屋兼宿屋で生まれ、苦学して1859年から地元オケに就職。1865年に最初の交響曲を書いた後、1872年に作曲した賛歌が民族主義の高まりのなかで評価を受け、ブラハ音楽界での地位を確立。音楽史上、後期ロマン派に属するが、ドイツ、オーストリアなどの音楽先進地域と異なる地域で活躍したため、1歳年上のチャイコフスキー、2歳下のグリーグらとともに国民楽派とも呼ばれる。チェコ国内ではスメタナとともにチェコ国民楽派の創始者の一人とされ、ヤナーチェクなどの後進に影響を与えた。1882年、オペラ「ディミトリ」がチェコ国内の評判に反しドイツとイギリスで上演されなかったこと、その年の12月に母が亡くなったことから作曲面で暗い曲が続くが、その名声は落ちず、1884年、ロンドン・フィルハーモニー協会名誉会員に推挙され、協会のために新しい交響曲を書いてほしいという依頼を受ける。なかなか筆が進まなかったが、親しいブラームスの交響曲第3番を聞いて奮起し、1885年に一気に書き上げられたのがこの第7番。暗さを打ち破り、確固としたものを目指す力強い曲となった。

第1楽章 アレグロ・マエストーソ

暗く歩むような主題、力強い主題、平安で民族的な主題などが各楽器の対話のなかで重厚に続くソナタ形式。

第2楽章 ポコ・アダージェ

穏やかなコラル風主題で導かれる第1部、ホルンが主役の第2部、第1部を複雑に展開する第3部から成る3部構成。

第3楽章 スケルツォ ヴィヴァーチェ

チェコ民族舞曲「フリアント」のリズムが主体の3部構成。

第4楽章 アレグロ

線の太い主題で始まり、力強く盛り上がっていくソナタ形式。

作曲家といえば、ドラマチックな生涯を送るタイプが多いが、ドヴォルザークは比較的平和な生涯を送った作曲家。鉄道好きとしても知られ、毎日同じ鉄道を利用し、その列車が奏でる走行音を楽しんでいたが、ある日、いつもと微妙に違う音が聞こえ、車掌に伝えたところ、車両から故障箇所が見つかり、事故を未然に防ぐことができたというエピソードもある。

団員募集

【募集楽器】 弦楽器：全パート（Vn, Va, Vc, Cb）

【練習日】 毎週日曜日 18:00～21:00

【練習会場】 佐倉市民音楽ホール練習室

【問い合わせ】 http://www.geocities.jp/sakura_ph_or/



Sakura Philharmonic Orchestra

佐倉フィルハーモニー管弦楽団メンバー

Concert Mistress : 城 みどり

1st Violin

梅田 恵莉
 清水 俊子
 庄司 睦美
 ♪ 山川 奈津子
 ♪ 青木 晶央
 ♪ 川崎 牧子
 ♪ 高橋 雅英
 ♪ 平野 聡
 ♪ 松岡 裕樹
 ♪ 松本さくら
 ♪ 武藤 貴子

2nd Violin

安部 文人
 天本 幸江
 岩淵 善彦
 佐藤 邦子
 島津 智恵
 ♪ 二宮 伸雄
 畑 保子
 宮川 葉子
 ♪ 浅野 英子
 ♪ 上原 剛介

Viola

岡村 隆
 ♪ 河辺 修次
 柴田 恵子
 比嘉 那実
 ♪ 池瀬 あゆみ
 ♪ 遠藤 利幸
 ♪ 高橋 恭子
 ♪ 竹中 邦夫
 ♪ 不破 眞

Cello

後藤 庸一
 ♪ 清水 裕幸
 豊田 美基
 福島 かおる
 松浦 晴彦
 ♪ 藤塚 紗也香
 ♪ 宮野 智

ContraBass

西中 久美子
 丸山 実穂
 ♪ 三宅 和也
 ♪ 赤岡 秀紀
 ♪ 木本 稔
 ♪ 宮野 良平

Flute

阿部 恵美
 三村 さゆり
 ♪ 柳田 晴生
 山田 綾乃

Oboe

♪ 辻野 豊博
 松本 賢一郎

Clarinet

石鍋 豊和
 ♪ 原口 豊隆
 福士 未樹

Fagotto

♪ 大平 麻海子
 永田 和也

Horn

岡 裕昭
 ♪ 小林 昌樹
 阪本 薫子
 坂本 直樹
 柴田 かおる
 森川 博邦

Trumpet

♪ 大木 基之
 ♪ 大崎 由莉
 ♪ 木村 沙織

Trombone

阿部 博
 柴田 孝一
 ♪ 村上 茂夫

Tuba

♪ 氏家 豊

Percussion

新井田 久美子
 ♪ 若菜 真紀子
 ♪ 近藤 博志

Harp

♪ 大木 理恵

♪ : パートリーダー

♪ : エキストラ

第54回 定期演奏会のお知らせ

曲 目 : スッペ / 喜歌劇「軽騎兵」序曲
 ビゼー / カルメン第1組曲、第2組曲
 シベリウス / 交響曲第2番 二長調 作品43

開催日 : 2011年6月26日(日)
 14時開演

場 所 : 佐倉市民音楽ホール

全国の処方箋承ります。

(株) 幸田薬局

佐倉ウエルネス 歯科医院

(旧ゆきお歯科医院)

佐倉市下志津 595 番地 10
(東邦大学医療センター佐倉病院向かい)

TEL: 043-462-2262

詳しくはホームページをご覧ください
<http://www.wellnesshika.com>

ゆったり駐車。らくらくショッピング!! **P** 800台

快適・安心・安全をお届けします。



京成臼井駅前 〒285-0837 佐倉市王子台1-23 TEL 043-461-1111

バラの街“八千代市と佐倉市”に
挟まれたバラの名所



KAIGARATEI RESORT

千葉県八千代市村上 209-2 ~ 4

TEL: 047-481-6227 (10時~17時火曜日定休)

私達は芸術活動を応援します。大ナニワイバラ&バラの
街作りプロジェクトの詳細は WWW.gpi-group.co.jp

スーパーマーケット



野口屋

本部 佐倉市臼井田 1027
TEL 043-487-2516
FAX 043-489-3746

心の旅

いせやの弁当

(株) いせや

(本社) 043(484)0052
(工場) 043(442)2000

植物のちからを健康に。

株式会社 常磐植物化学研究所

本社工場 千葉県佐倉市木野子158 TEL (043)498-0007
東京支社 東京都中央区日本橋本町4-4-2 TEL (03)5200-1251

有限会社 佐倉読売サービスセンター

代表 石渡清一

●佐倉市鎗木町 1205-2 TEL 043-484-2148
FAX 043-484-2149

取扱い新聞

読売新聞・報知新聞・日本証券新聞
千葉日報・農業新聞・日刊投資新聞他